

- 大学等の数学関係の研究機関(数学連携研究拠点)における、諸科学・産業界との共同研究等の取組を加速するとともに、そこで得られた成果等を集約し、関係機関のネットワークを通じて横断的に展開することで、数学と諸科学・産業界との連携によるイノベーションの創出を目指す。
- このために、取りまとめ役を担う幹事機関が中心となり、優れた実績・成果や人材を持つ大学等の数学連携研究拠点と諸科学・産業界とが協働する場を戦略的に設定して共同研究への発展を促すとともに、得られた知見・経験の共有、横断的な展開を図る。

<統合イノベーション戦略2019(令和元年6月21日閣議決定)>

- 自らの専門分野での数理・データサイエンス・AIの学習・学修を経験できる環境を整備する。
- 新たな社会を創造していくために必要な力を育成するため、産学連携や地域連携によるSTEAM教育の推進を図る。
- AIに関する中核研究プログラムを立ち上げ、AIの基盤的・融合的な研究開発を推進する。

<第5期科学技術基本計画(平成28年1月11日閣議決定)>

(超スマート社会サービスプラットフォームの構築に必要な)基盤技術を支える横断的な科学技術として数理科学が挙げられ、各技術の研究開発との連携強化や人材育成の強化に留意しつつ、その振興を図る。

【幹事機関を中心とした具体的な取組】



(※)以下の各機関の数学・数理科学関係研究所・研究科等
北海道大学、東北大学、筑波大学、理化学研究所、統計数理研究所、明治大学、早稲田大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、広島大学